

『福祉・介護職のための
病院・医療のしくみまるわかりブック』
利根川 恵子/著、杉山 孝博/監修 中央法規出版

本書は、身近ではあるものの介護現場からは見えにくい、病院や医療の仕組みが解説されており、介護・福祉・医療をスムーズにつなげることを狙いにまとめられています。また医療の説明の中にも、介護職の視点でのポイントが記載されており、実務にも活かせる内容が盛りだくさん。福祉・介護職だけでなく、医療機関を利用するご本人やご家族の方にもおすすめの一冊です。



『対人援助職に効くストレスマネジメント
—ちょっとしたコツでココロを軽くする10のヒント—』
竹田 伸也/著 中央法規出版

「支援者として自信が持てない」「人間関係が築けない」「利用者のためを思っているのになぜかうまくいかない」—そんな対人援助職の方々が抱えやすいストレスについて、「身近な実話」を通してやさしく、具体的にセルフケアや援助技術のポイントが書かれています。この本でがんばりすぎたココロを軽くしませんか？



『よくわかる高齢者の認知症とうつ病
—正しい理解と適切なケア—』
長谷川 和夫/著、長谷川 洋/著 中央法規出版

口数が少なくなる、趣味や好きだったことをしなくなる、気分の落ち込み等、これらの症状は、うつ病の初期症状にも、認知症の症状にもあてはまるそうです。それが高齢の方だと、家族や介護者の方は「認知症では？」と考えがちになるそうです。本書ではこれらの症状にそれぞれの特徴があり、治療法や対応が異なること、支援のコツなどが図表やイラストで説明されています。「ちょっと気になる…」そんな時に手にしていただきたい一冊です。



『セルフ・ネグレクトの人への支援』
岸 恵美子/編集 中央法規出版

「ゴミ屋敷」「サービスの拒否」「孤立」等、自分に無関心となり、他者からの介入も拒む「セルフ・ネグレクト」に陥る人の生活背景・思いを紹介するとともに、自ら支援を求めない人へのアプローチ方法、アセスメントのための視点、「セルフ・ネグレクト」の予防策等を解説。専門職としてどのように介入・支援すればよいのか迷った時に、ぜひ手にとっていただきたい一冊です。



『そうだったのか！ 発達障害の世界
—子どもの育ちを支えるヒント—』
石川 道子/著 中央法規出版

発達障害の子どもたちだけでなく、全ての子どもたちを育てるためのヒントになります。子どもの特性と向き合い、その子に合った対応をすることで、より子育てがしやすくなることでしょう。「苦手だからやらせないのではなく、苦手だから一緒に乗り越える。」そのための具体的な方法が、乳幼児期から成人期まで分かりやすく書かれています。お子さんと一緒に解決するための考え方、見つけてみませんか？



『育つ力と育てる力
私と三人息子は発達障害です。何か？』
笹森 理絵/著 廣済堂出版

当事者ですら説明しづらい『発達障害』について、自身や息子さんの生活を追いながらわかりやすくつづられています。著者は、33歳で発達障害と診断を受けます。また三人の息子さんもそれぞれタイプの異なる発達障害を抱えています。当事者・保護者・支援者の視点から、発達障害の特性や理解・対応の仕方を取り上げた本書は取り巻く環境の変化と、なおも存在する課題について考えるきっかけを与えてくれる一冊です。



『ラチとらいおん』
マレーク・ペロニカ/文・絵 徳永 康元/訳 福音館書店

世界中でいちばん弱虫な男の子、ラチ。将来の夢は飛行士で絵本好きのラチの前にある日、赤い小さなライオンが現れます。ラチはそのライオンの特訓を受けて、強い男の子へ変わっていきます。そしてラチが一人でも十分に強い男の子に変わったとき、ライオンは姿を消しますが…。世界中の子どもたちに愛読されている名作絵本は大人にも是非読んでいただきたい一冊です。



福祉ライブラリーニュース

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 ● 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター2階



今回の内容

- 蔵書点検にともなう閉室のお知らせ
学んで始まるボランティア物語～講座案内～
- あなたが探していたパズルのピース、ここで見つかる?!
～各種セミナー開催～
- 企画展示 第7弾
選び続けられたのはコレだ!～貸出ランキングTOP10(後編)～
- 新着案内

蔵書点検にともなう閉室のお知らせ

7月25日(月)～29日(金)まで蔵書点検のため、閉室します。
※なお、返却ポストはご利用いただけます。

学んで始まるボランティア物語 ～講座案内～

平成28年度 精神保健福祉ボランティア講座

開催日時：平成28年8月31日(水)、9月7日(水)、
9月15日(木)、9月20日～10月25日の
うち1日実習、10月26日(水)(全5回)
14:00～16:00(受付/13:30～)
時間は日によって異なります。
開催場所：こうべ市民福祉交流センター 3階301教室 他
神戸市中央区磯上通3-1-32
定員：40名(申込多数の場合は抽選)
受講料：2,000円(全5回)
※受講料は受講当日受付にてお支払いください。
申込方法：中面の申し込み方法をご覧ください。
申込締切：平成28年8月17日(水) 必着

平成28年度 視覚障がい者のためのガイドボランティア講座

開催日時：平成28年9月2日(金)、9日(金)、16日(金)(全3回)
10:00～16:00(受付/9:30～)
講師：NPO法人 神戸アイライト協会
理事長 森 一成氏/塩尻 恵子氏
開催場所：こうべ市民福祉交流センター 3階301教室 他
神戸市中央区磯上通3-1-32
定員：20名(申込多数の場合は抽選)
受講料：2,000円(全3回)
※受講料は受講当日受付にてお支払いください。
申込方法：中面の申し込み方法をご覧ください。
申込締切：平成28年8月12日(金) 必着

＜関連図書＞

『精神障害者の
経済的支援ガイドブック』
青木 聖久/著 編集
越智 あゆみ・風間 朋子・高橋 裕典/著
中央法規出版



本書は、精神障がい者の暮らしを支えるための制度や手続きの仕組みを、事例とQ & Aを交えて分かりやすく解説されています。単なる制度の理解だけでなく、精神障がい者の生活をイメージしながら読み進めることができる一冊です。

＜関連図書＞

『イラストでわかる
視覚障害者へのサポート』
国際視覚障害者援護協会/編 読書工房



視覚障がいの方に出会ったら、あなたは自らガイドができますか？
第1章では、街で視覚障がい者を見かけた場合について、分かりやすく書かれています。端的な文章と状況をイメージしやすいイラストが書かれており、お子様へもオススメ。また、第2章では家族やヘルパーさん向けに、日常生活に必要なサポートについて詳しく書かれています。サポート側が気がつきにくいポイントも書かれており、より親切なサポートを行いたい方へもオススメです。



社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会
市民福祉大学 福祉ライブラリー
〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター2階
TEL：078-271-5307 FAX：078-271-5365
URL：http://www.with-kobe.or.jp

開室日：月曜日～金曜日
開室時間：午前10時～午後6時
(国民の祝日、年末年始、図書整理日は除く)

- JR・地下鉄「三宮」徒歩15分
- 阪急・阪神「神戸三宮」徒歩15分
- 地下鉄海岸線「三宮・花時計前」徒歩7分
- 市バスの系統「市民福祉交流センター」前下車すぐ
- ポートライナー「貿易センター」徒歩5分
(貿易センター駅から地上への連絡は、階段の利用となります。)

あなたが探していたパズルのピース、ここで見つかる?!

各種
セミナー
開催

平成28年度 介護セミナー

「見て! 触って! 体験しよう 福祉用具の選び方」

開催日時：平成28年8月19日（金）
10：30～15：00（受付/10：00～）

講師：兵庫県福祉のまちづくり研究所
作業療法士 福元 正伸氏

開催場所：こうべ市民福祉交流センター 3階302教室
神戸市中央区磯上通3-1-32

定員：30名（申込多数の場合は抽選）
受講料：1,000円

※受講料は受講当日受付にてお支払いください。
申込方法：下記申し込み方法をご覧ください。

申込締切：平成28年8月4日（木）必着



＜関連図書＞

『高齢者・障害者の生活をささえる福祉機器Ⅲ』
今丸 満美・岩波 君代・浜田 きよ子・市川 冽/著
財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団

個々の生活環境や体格に応じた適切な福祉機器の選択に役立つ一冊。自分の生活に活かせる福祉機器をどのように選び、調整し、使うかを、イラストなどを使用して、わかりやすくまとめた手引書。



平成28年度 市民福祉セミナー

「“合理的配慮” できていますか？ —障害者差別解消法について知ろう!—

開催日時：平成28年8月27日（土）
13：30～15：30（受付/13：00～）

講師：明石市福祉部障害者・高齢者支援担当課長
弁護士 青木 志帆氏

開催場所：こうべ市民福祉交流センター 3階301教室
神戸市中央区磯上通3-1-32

定員：60名（申込多数の場合は抽選）
受講料：1,000円

※受講料は受講当日受付にてお支払いください。
申込方法：下記申し込み方法をご覧ください。

申込締切：平成28年8月10日（水）必着



＜関連図書＞

『障害者の権利条約でこう変わるQ&A』
東 俊裕/監修 DPI日本会議/編集
解放出版社

障害者差別解消法のキーワードである『合理的配慮』について、「合理的配慮とはなんですか?」、「職場における合理的配慮ってなんですか?」というQ&Aや、「障害者差別禁止法はなぜ必要なんですか?」といったことが書かれています。この本を読んで障害者差別解消法について学んでみませんか?そして、セミナーに参加し、より詳しく考えてみませんか?



お申し込み
方法

電話または、はがき・FAXにて

①講座名 ②住所(〒) ③氏名 ④年令 ⑤電話番号 をご記入のうえ、市民福祉大学まで。

■電話：078-271-5300 ■FAX：078-271-5365

■住所：〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター

予告!!

平成28年度 市民福祉セミナー

「知ろう! 体験しよう! 障害者スポーツ」

今夏、世界中のアスリートが集い、それまでに重ねてきた成果をぶつけあい頂点を決める祭典、リオデジャネイロ オリンピック2016が開催されます。その祭典が幕を下ろしたあと、もう一つの祭典があることをみなさんはご存知ですか?—そうです、「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」、リオデジャネイロ パラリンピックが9月に開催されます。競技種目には、陸上競技、サッカー、馬術、シッティングバレーボール、車椅子バスケットボール、車いすフェンシング等の20競技があり、オリンピック競技とはまた違ったおもしろさ、楽しみ方があります。

そんな障害者スポーツの魅力をも冬の市民福祉セミナーでご紹介! パラリンピック出場選手をお招きする(予定)ほか、障害者スポーツの体験コーナーもございます。現在企画中です。どうぞ楽しみにお待ちください!

＜関連図書＞

『パラリンピック・アスリート
—輝く挑戦者たちのフォト・ストーリー—』

清水 一二/写真・文
中央法規出版

パラリンピック選手がそれぞれのフィールドで戦う姿—その写真を通じて、それぞれの選手が重ねてきた努力、勇気、精進の時間が見えます。厳しい競技の世界に身を置くことによって自らを鍛え、常に“一歩上”への挑戦を継続している選手たち。躍動感とともに感動と生きる勇気が伝わってくる写真集です。



福祉ライブラリー展示企画 第7弾

選び続けられたのはコレだ!! ～貸出ランキングTOP10 (後編)～

(集計期間：H27/1/1～12/31)

福祉ライブラリーでは、日々たくさんの方が手にとられ、貸出されています。

前回に引き続き、平成27年の貸出状況にスポットを当て、貸出率の高かったベスト5をご紹介します。

満を持しての登場です!!



第1位



『七つの会議』

池井戸 潤/著 日本経済新聞社出版

企業の不祥事を題材にした小説で、繰り返される不正と隠蔽体質の問題が、近日話題のニュースと非常に重なって見えました。

またあえて不正を公言しない下請け企業や、生活のために不正を黙認しながら働くサラリーマンなど登場人物の思いで構成されており、半沢直樹の作者が繰り広げるリアリティあふれる世界観に飲み込まれます。

第2位



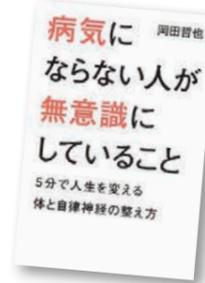
『サラバ! 上/下』

西 加奈子/著 小学館

自分が正しいと思うものは何か—2015年第152回直木賞を受賞、同年本屋大賞第2位にも選ばれた本著。

イランで生まれた主人公とその個性的な家族、友人達。閉塞感や焦燥感などの揺れ動く気持ちリアルな背景描写にぐんぐん引き込まれていきます。この物語のなかであなたが信じるものが何なのか、探してみませんか。

第3位



『病気になる人が無意識にしていること—5分で人生を変える体と自律神経の整え方—』

岡田 哲也/著 幻冬舎ルネッサンス

体に痛みや、疲れ、だるさといった症状が出てから、病院に駆け込んだり、薬を飲んだりしていませんか?それでは、毎日を生き生きと過ごせませんよね。毎日を「スッキリ」と気持ち良く過ごす為に、必要な意識の仕方が書かれています。この意識を、毎日続けることで自然と身につく、あなたも病気知らずになれるかもしれません。

第4位

『ヘルプマン! 27巻 ~監査編~』 くさか 里樹/著 朝日新聞出版

制度を悪用し、老人たちを搾取、介護放棄する有料老人ホーム「おはなばたけ」の監査をしてほしいと頼む恩田百太郎と神崎仁。過去に行政指導の名のもと悪徳事業所を閉鎖に追い込んだ経験から、慎重にならざるを得ない県庁。

有料老人ホームと介護施設。両者に関わる法のスキマについて行われる業者の不正にどう立ち向かうのか?!

超高齢社会に生まれた新たな闇が描かれた作品。



第5位

『九年前の祈り』 小野 正嗣/著 講談社出版

カナダ人の夫と別れ、幼い息子、希敏を連れて故郷に帰ってきたさなえ。

スイッチが入ると暴れて泣き叫ぶ希敏のもとでさなえはふと、みっちゃん姉を思い出す…。本書は大分の海辺の集落を舞台に、過去と現在を行き来しながら進み、独特な世界観に引き込まれて行きます。その他3つの話も緩やかにつながり、読み進めるごとに胸を打たれる一冊です。



次回の企画展示 テーマは『あざやかによみがえる! 講師の色紙特集 (仮)』です。